

温度上昇がダイズ作に与える影響と 帰化アサガオ類防除技術

(独)農研機構 中央農業総合研究センター・東北農業研究センター、
京都大学

寒冷地と暖地との連絡試験で、ダイズの温度応答を調べています。温暖化の影響は、地点によって違いましたが、小粒化の傾向は広い温度域で認められました。

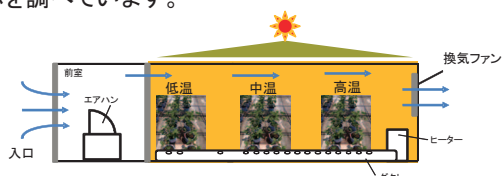
ダイズ栽培を脅かす熱帯産の雑草“帰化アサガオ類”は、気温上昇で成長がとても早くなります。帰化アサガオ類の性質を調べて防除法を作っています。

温度上昇がダイズ作に与える影響

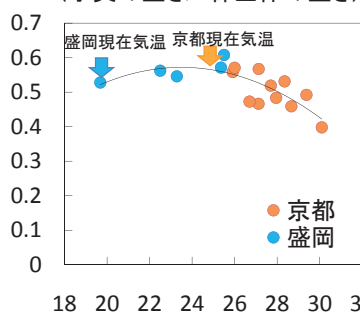
○寒冷地(盛岡)と暖地(京都)において、温度勾配装置(TGC)を使って、幅広い温度域でのダイズの反応を調べています。

盛岡と京都の平均気温(°C)

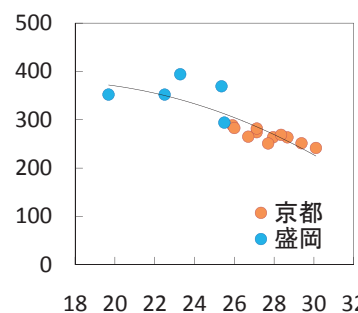
	6月	7月	8月	9月	6~9月平均
盛岡	18.2	21.8	23.2	18.3	20.4
京都	22.7	26.7	27.8	23.6	25.2
差	4.5	4.9	4.6	5.3	4.8



収穫指数
(子実の重さ/株全体の重さ)



1粒の重さ(mg)



出芽から成熟まで平均気温(°C)

○温度上昇は、寒冷地(盛岡)では、ダイズ作に影響を及ぼさないか、プラスの影響を与えますが、暖地(京都)では、マイナスの影響を及ぼします。ただし、高温によって小粒化する傾向は、共通していました。

帰化アサガオ類の防除技術

何が問題?

国産のダイズ栽培が
帰化アサガオ類のせいで
壊滅的な被害



“熱帯産”の帰化
アサガオ類が
温暖化のせいで
北へ!



対策は?

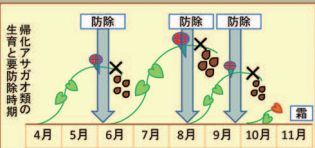
○これ以上広げない
ために...



ダイズの本葉が2枚
になったら直ちに
「大豆バサグラン」を
処理するのがポイント!

詳しくはマニュアルをご覧ください

畑のまわりで種子を作らせない
タイミングで**年3回**防除!



○ダイズ畑に侵入し
てしまったら...



もう対策OK? NO!

●気温が上がると帰化アサガオ類
の成長が早くなる

生育期間	平均気温		
	20°C	24°C	26°C
2週間	1~2葉	1~2	2~3
3週間	2~4	3~5	4~7
4週間	2~5	5~10	8~19

●大きくなった帰化アサガオ類は
「大豆バサグラン」で枯れない

大豆バサグラン処理時の 帰化アサガオ類の本葉の枚数と効果		
~2葉	3~5葉	6葉~
○	△	×

さらに研究中!

- ◆ダイズより帰化アサガオ類が早く成長すると防除できない地域が出てくる
- ◆さらなる防除法を検討中